

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレスト堺大小路	階数	地上15F
建設地	大阪府堺市堺区戎之町西1丁5番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、近隣商業地域	平均居住人員	4人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2011年9月20日
敷地面積	1,442 m ²	作成者	株式会社鴻池組一級建築士事務所
建築面積	752 m ²	確認日	2010年9月22日
延床面積	8,664 m ²	確認者	笹田浩司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	自然と調和した快適な住環境を創造する。	
その他	0	
Q1 室内環境	高い断熱性能を確保し、快適な居住空間を実現する。また、自然採光および自然通風を取り入れ、環境に配慮する。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	耐久性・機能性の向上を目指し、建物の長期利用に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	周辺のまちなみや景観に配慮した色彩・形状の計画とする。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	省エネルギー対策に重点を置くとともに、自然エネルギーを積極的に取り入れた計画とする。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	節水を図り、水消費の低減を図る。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	オール電化マンションとすることで、燃焼機器を用いない計画とする。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)プレミスト堺大小路新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区戒之町西1丁5番	1.1	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 8,663.90 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	5	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.6	5
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		5.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.8	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		2.2	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
太陽光発電による自然エネルギーの利用	電力設備の省力化
特に配慮した事項	